岩手の畜産

題字は達増知事

令和７年11月号

発行所
一般社団法人 岩手県畜産協会
〒020-0605 滝沢市砂込389番7
☎ 019－694－1300㈹
FAX 019－694－1305
ＵＲＬ：http://iwate.lin.gr.jp
E-Mail：info@iwate.lin.gr.jp
印刷　小松総合印刷㈱

畜産春秋

「温故知新」

全国農業協同組合連合会　岩手県本部
畜産酪農部部長　久　保　正　和
（全国和牛登録協会　岩手県支部長）

第13回全国和牛能力共進会（以下「全共」という。）が令和９年８月26日（金）～30日（月）に北海道で開催されます。開催テーマは「魅力発信　新しい力でつなぐ　和牛の未来」です。生産性や和牛の魅力の一層の向上を図るとともに、美味しさに関連する脂肪の質（MUFAやオレイン酸）などといった新たな和牛肉の価値観の、更なる定着を進めていくことを目標にしたテーマとなっています。

本県出品予定頭数は22頭で以下のとおりとなっており、前回に引続き高校・農業大学校を対象とした特別区も設定されています。

＜種牛の部＞　個体出品区：３区３頭
　　群出品区：３区３群（10頭）
＜肉牛の部＞　個体出品区：１区２頭
　　群出品区：２区２群（６頭）
＜特 別 区＞　個体出品区：１区１頭
　　※高校・農業大学校の部

本県では出品牛の造成に向け計画交配に取り組んでおり、現在その候補牛が産まれてきている状況です。

肉牛の部には前回同様、脂肪の質評価群が設定されており、本県では期待の「菊美翔平」号を父牛に全県で取り進めているところです。全共を舞台に「岩手」を全国にPR出来る場となるよう好成績に期待しています。「菊美翔平」号をはじめ、岩手県有種雄牛の能力は向上しており、皆さんにもっと活用していただき、岩手の市場に来ないと買えない牛を増やし活性化を図っていきたいと考えています。

また、全共は地域の育種・改良の成果を確認する場でもあります。本県では、産肉性だけに特化した種雄牛造成に取り組んでいる訳ではなく、繁殖性など種牛性に富んだ種雄牛の造成にも取り組んでいます。地域で活躍した種雄牛の血を絶やさず後世に繋げることも、その時代に関わった人の役割でもあると思います。

「温故知新」という言葉がありますが、私自身、和牛に関係する業務を通じ、その言葉が大切だと感じています。血統、系統を学び地域が取り組んできたことを振り返り、それを引継ぎ新しい牛を造成していくことが必要です。先人の「想い」、生産者の「想い」を次の世代に繋げられるよう、今後も努めて参ります。「牛づくりは人づくり」とはよく言いますが、特にも全共は、一人で目指せるものではありません。様々な結束の上に人が繋がります。是非、多くの人が関わり、経験してその取り組みを次の世代に繋いで欲しいと思います。

そして、前回の第12回鹿児島全共では成しえなかった全出品区優等賞受賞を目標に生産者・JA・行政等各関係機関と連携を強化し一緒に取り組んで参ります。

もくじ
CONTENTS

畜産春秋……1
第69回岩手県畜産共進会種畜の部開催……2
2025LIAJ和牛講演会……3
IBCまつりで県産豚肉をPR……4
畜産フェア開催……4
畜産物輸出対応生産円滑化事業……5
家畜の保健衛生（162）……5
畜産の研究（157）……6
乳用牛群検定情報（20）……7
畜産技術情報（111）……8
これからの未来のために　暮らしのチカラに、地方競馬……10
出版物のご案内……10
令和７年度短角牛市場成績……12
子牛市場及び家畜市場成績……12

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

第69回 岩手県畜産共進会 種畜の部開催

当協会主催の第69回岩手県畜産共進会種畜の部（以下「県共」という。）が、9月3日の総合開会式・黒毛和種の部を皮切りに、9月26日まで畜種毎に開催されました。今回の県共では北海道で10年ぶりに開催される第16回全日本ホルスタイン共進会の県出品牛の選定を兼ねて実施されたことが特徴で、当日は過去最高の144頭の出品牛が競い合い、次のとおり県出品牛が選抜されました。

また、今回の県共では各開催場所において、消費者に対し、地域畜産の理解を深め地方競馬の畜産振興等への貢献について周知を図ることを目的に、県内畜産物等を配布する地域畜産フェアを実施しました。

開催期間中は、大雨に見舞われた日もありましたが、出品者や会場観覧者が多く集まり、また、馬の部では滝沢市内の保育園児が見学に来るなど、天候に負けない熱気を大いに感じられた共進会となりました。

滝沢市内の保育園児が見学している様子

各部門の審査の結果、名誉賞は次のとおりです。

◇黒毛和種の部（9月3日、JA全農いわて中央家畜市場）　名誉賞

・若雌（農林水産大臣賞）

区　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第３区	さわゆうほう	R6.3.24	花巻市	久保田　直紀

・群出品

区　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第６区	こ　み　つ	R5.5.13	岩手町	佐藤　与一
	こ　こ　あ	R1.10.9	岩手町	佐藤　与一

黒毛和種の部　若雌　名誉賞

◇ホルスタイン種の部（9月26日　JA全農いわて中央家畜市場）　名誉賞

・未経産

部　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第３部	ｼﾐｽﾞﾌｱｰﾑ　ｱｲｷｬﾝﾃﾞｨｰ ﾌﾟﾛﾐｽ	R6.7.4	洋野町	清水　繁勝

・経産（農林水産大臣賞）

部　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第14部	ﾉｰｽﾗﾝﾄﾞ ﾄﾞｱﾏﾝ ｽﾀﾝﾘｰ ﾚｸｻｽ	R3.4.21	久慈市	外谷　辰也

◇第16回全日本ホルスタイン共進会の県出品牛

１　ホルスタイン種

（1）　一般枠

・未経産

部　別	名　号	市町村	氏　名
第２部	ﾋﾟｰｽﾊﾞﾚｰ ｺﾞｰﾙﾄﾞ ﾚﾃﾞｨｰ ｱｲ ET	葛巻町	㈱PeaceValleyDalry
第３部	ｼﾐｽﾞﾌｱｰﾑ　ｱｲｷｬﾝﾃﾞｨｰ ﾌﾟﾛﾐｽ	洋野町	清水　繁勝
第４部	ﾋﾟｰｽﾊﾞﾚｰｺﾞｰﾙﾄﾞ Ｊﾗﾑﾀﾞ ｱﾐｰ	葛巻町	㈱PeaceValleyDalry
第４部	OH ﾃﾞﾙﾀﾗﾑﾀﾞ ｶﾃﾘｰﾅ ｴｰｽ	久慈市	大芦　博之

ホルスタイン種の部　経産　名誉賞

・経産

部別	名号	市町村	氏名
第９部	ｶｰﾐｰ ﾃﾞﾙﾀﾗﾑﾀﾞ ﾎﾘｰ ET	洋野町	下館　友裕
第10部	ｾﾌﾞﾝｽﾍﾌﾞﾝ ｴｷｽﾎﾟﾗﾑﾀﾞ ﾊｰｹﾞﾝ	滝沢市	鈴木　稔
第12部	ｼﾞｴｰｴｰ ﾗﾑﾀﾞ ｶﾘﾝ	岩泉町	工藤　淳平
第13部	ﾉｰｽﾗﾝﾄﾞ ﾃﾞﾙﾀﾗﾑﾀﾞ ﾀｲﾃﾞｲ	久慈市	外谷　友洋
第14部	ﾉｰｽﾗﾝﾄﾞ ﾄﾞｱﾏﾝ ｽﾀﾝﾘｰ ﾚｸｻｽ	久慈市	外谷　友洋

部別	名号	市町村	氏名
第14部	ｺｲﾜｲ ﾎｯﾄｼﾞｮﾌﾞ ﾘｰﾌﾚｰﾓﾝ	雫石町	小岩井農牧㈱ 小岩井農場
第15部	ﾌﾟﾛｽﾍﾟﾘｰ ﾗｯｷｰ ﾁｪﾝｵｰｻﾑ	遠野市	佐野　茂樹
第16部	ｾﾌﾞﾝｽﾍﾌﾞﾝ BJ ｺﾞｰﾙﾄﾞ ｼﾞｬｺﾋﾞｰ	滝沢市	鈴木　稔

(2)　Ｊサイア娘牛枠

・未経産

部別	名号	市町村	氏名
第１部	K6 ﾓｰｼﾞｬｽﾊﾟﾘｽ ﾘﾌﾚｸｼｮﾝ	葛巻町	中村　大地
第１部	ﾛｰｽﾞ ﾋﾞｸﾄﾘｰ ﾎﾟｯﾌﾟｽﾀｰ	九戸村	欠端　浩美

・経産

部別	市町村	市町村	氏名
第７部	ｼﾐｽﾞﾌｧｰﾑ ﾘﾝｼﾞｰ ｻﾗﾀﾞ	洋野町	清水　繁勝
第７部	ﾁｪﾘｰﾗﾝﾄﾞ ﾃﾞｲﾘｰｼﾞｮﾌﾞ ｸﾞｯﾄﾞ	盛岡市	佐々木 総隆

(3)　高等学校特別枠

部別	名号	市町村	氏名
第２部	ﾓﾘﾉｳ BW ｷﾗｷﾗ ﾚﾎﾞﾘｭｰｼｮﾝ	滝沢市	岩手県立盛岡農業高等学校

２　ジャージー種

・未経産

部別	名号	市町村	氏名
第17部	ﾓﾘﾉｳ G ｱｲﾊﾞｰｿﾝ ﾃｷｰﾗ	葛巻町	㈱GRF ホルスタインズ

・経産

部別	名号	市町村	氏名
第19部	ﾌﾞﾗｲｱｰ ﾋﾞｸﾄﾘｱｽ ﾊﾞｰﾋﾞﾝ DF	一戸町	松川　穣

◇日本短角種の部（９月５日、JA全農いわて中央家畜市場）　名誉賞

・個体（東北農政局長賞）

部別	名号	生年月日	市町村	氏名
第３部	とよふくこ	H30.4.1	岩泉町	三上　孝弘

・牧野牛群

部別	名号	生年月日	市町村	氏名
第３部	ひめざくら	R2.3.26	岩泉町	畠山　利勝
	ひ　な	R2.3.3	岩泉町	佐藤　文喜
	さわさち	H31.3.25	岩泉町	佐々木　イサ

日本短角種の部　個体　名誉賞

◇馬の部（９月17日、馬っこパークいわて）名誉賞（東北農政局長賞）

類別	名号	生年月日	市町村	氏名
第２類	令宝	R4.7.13	岩手町	千葉　伝

馬の部　名誉賞

2025LIAJ和牛講演会

令和７年８月28日、一般社団法人家畜改良事業団盛岡種雄牛センター主催の2025LIAJ和牛講演会が盛岡市内で開催されました。

講演会では、講師の茨城県畜産農業協同組合連

くずまき高原牧場
酪農教育ファーム認証牧場（第0301002号）
牧場体験承っております
アイスクリーム作り体験、牛・羊の世話、
乳搾り体験、羊の毛刈り体験、しいたけ採取体験

乳製品の宅配承っております

かわいい動物たちとふれあえます
《ご予約・お問い合わせ先》
くずまき交流館プラトー
TEL.0195-66-0555
https://kuzumaki.jp

中川講師

合会の中川代表理事会長から、「これからの和牛繁殖・肥育経営について」と題して、良い子牛を生産するための子牛の月齢に応じた飼料給与プログラムの説明や、肥育経営においては、生産費から損益分岐点を算出し、販売原価に対して採算がとれる販売金額を確認する必要があることなど説明がありました。

農協や関係団体の畜産指導者、生産者が多数出席し、子牛の哺育方法や飼料の適正な給与方法等について質問が出るなど、参加者にとって実りの多い講演会でした。

IBCまつりで県産豚肉をPR

岩手県養豚振興会（橋本晋栄会長）では、安全・安心でおいしい県産豚肉の消費拡大を図るため、会員が取り組む各地の産業祭りなどで実施される、豚肉試食等の取り組みに対し、一部助成を行っています。

この取り組みの一環として、令和7年9月20日（土）から21日（日）までの2日間、ツガワ未来館アピオで開催されたIBCまつりにおいて、岩手県産豚肉を広く知ってもらうため、岩手県農協養豚経営者連絡協議会（平谷東英会長）が出展し、いわて純情豚の試食によるPRを行いました。

試食配布の際は、来場者が多く詰めかけ、「県産豚肉のおいしさを改めて知ることができた」等の言葉をもらうなど、品質の高さや安全・安心な食材であることを、広くPRすることができました。

畜産フェア開催

令和7年10月12日（日）、盛岡競馬場で東北6県の畜産協会等7団体※による畜産フェアが開催されました。

このフェアは、地方競馬の活性化を支援するとともに、畜産に対する理解促進を図ることを目的に開催したものです。

当日は生憎の雨模様でしたが、開門時刻の11時前には若者から年配の方、家族連れなど多くの来場者で長蛇の列ができていました。スタッフから畜産品引換券を受け取った来場者は、足早に場内馬券売り場に向かって行きました。用意された引換券1,170枚は40分ほどで配布終了となり、畜産品と交換した来場者は、一様に満面の笑みを浮かべていました。

なお、地方競馬の売上げの一部は、畜産農家の経営改善、後継者の育成、家畜の感染予防等、畜産振興に役立てられています。

※　青森県馬事畜産振興協議会、一般社団法人宮

JGAP認証農場
登録番号 L140000002
母豚２，０００頭の一貫経営
・JGAP認証農場　・良質豚ぷん堆肥の供給
・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給
「みなみよ～とん株式会社」
岩手町大字川口36-242-3
TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373
※精肉のご用命は岩手畜流会（食肉専門店）へ

城県畜産協会、宮城県地域畜産振興対策協議会、秋田県馬事畜産振興協議会、山形県馬事畜産振興協議会、福島県馬事畜産振興協会、一般社団法人岩手県畜産協会

畜産物輸出対応生産円滑化事業
～輸出をもっと身近に～

一般社団法人日本畜産物輸出促進協会は、日本産畜産物のオールジャパンでのプロモーション活動や輸出に関する情報収集・情報提供などを通じて、日本の畜産物輸出を促進するために平成26年に設立された団体です。

現在、日本の畜産物輸出について畜産経営体やその関係者の皆様に理解を深めていただくため、一般社団法人岩手県畜産協会をはじめ全国31道府県の畜産会組織と連携し、畜産物輸出対応生産円滑化事業を実施しています。

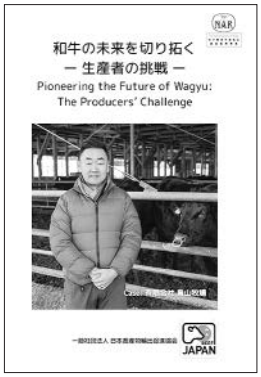
主な取り組みは以下の３点です。

１　輸出相談窓口の設置

皆様からの輸出に関する相談に対応するため、各畜産会組織に輸出相談窓口を設置しています。

２　パンフレットの作成・配布

輸出に取り組む全国の経営事例を取材し、輸出を実施することになったきっかけ、輸出までの経緯、輸出のメリット等を取りまとめたパンフレットや動画を作成し、配布・配信しています。



事例パンフレット画像

３　研修会等を通じた畜産物輸出についての情報提供

日本の畜産物輸出の現状などを皆様に説明するため、畜産会組織が主催する会議や研修会に講師を派遣し、講演を行っています。

講師には当協会職員のほか、実際に食肉事業者として畜産物輸出実務を経験された専門家も派遣しています。

昨年度は全国で６回の講演を実施しており、出席者の皆様からは、「輸出を取り巻く様々な状況を知ることができた」「輸出についての理解が深まった」等の声をいただいています。

出張講演なども承っていますので、ご興味のある方は是非岩手県畜産協会までお問い合わせください。

なお、当協会のホームページでは、輸出に関する情報だけでなく、畜産物を使用した料理のレシピブックや和牛の魅力をまとめたパンフレット、国内外の日本産畜産物を取り扱うレストラン情報など、多数のコンテンツをご用意しています。是非一度ご覧ください。

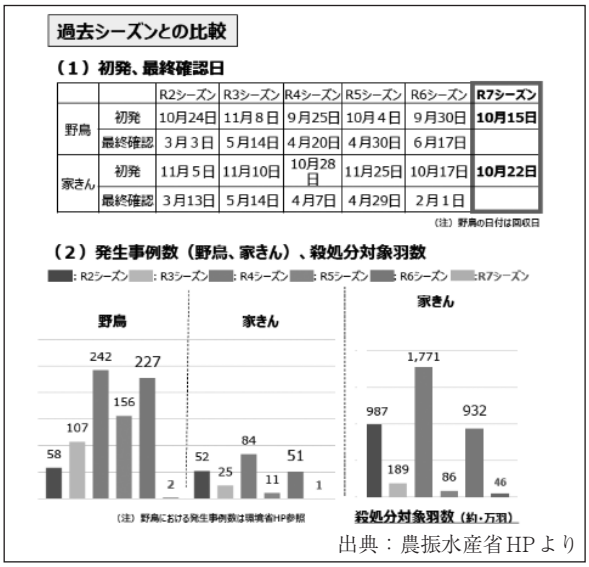
輸出協会HPのQRコード

家畜の保健衛生　（162）

高病原性鳥インフルエンザの発生リスクを減らすために

令和6年シーズンの家きん農場における高病原性鳥インフルエンザ（以下「HPAI」という。）の発生は、令和6年10月17日に国内1例目が確認された以降、令和7年2月1日（終息）までに14道県51事例の発生があり、まん延防止のため約932万羽の家きんが殺処分となりました。１月には、とりわけ特定地域に集中した発生が目立ち、同月としては過去最多となる34事例が報告され、本県でも５事例の発生が確認されています。

今（令和7年）シーズンは、韓国において9月12日に養鶏場でHPAIの発生が確認されました。国内においても、既に、北海道の死亡野鳥で10月15日に陽性が確認され、次いで10月22日に養鶏場（採卵鶏）でHPAIの発生が確認されました。



		R2シーズン	R3シーズン	R4シーズン	R5シーズン	R6シーズン	R7シーズン
野鳥	初発	10月24日	11月８日	9月25日	10月４日	9月30日	**10月15日**
	最終確認	3月3日	5月14日	4月20日	4月30日	6月17日	
家きん	初発	11月５日	11月10日	10月28日	11月25日	10月17日	**10月22日**
	最終確認	3月13日	5月14日	4月7日	4月29日	2月1日	

（注）野鳥の日付は回収日

出典：農振水産省HPより

本病の家きん農場への侵入及び発生防止対策の徹底について、引き続きお願いします。

● 発生リスクを減らすために（防疫対策徹底のポイント）
10月から翌年５月までは防疫体制を強化しましょう。

1　毎日健康観察を行い、**異状確認時には当所へ直ちに通報**
2　野鳥の誘因防止として、次の対策の実施
　▷　防鳥ネットや農場周辺にあるため池の水抜き、忌避テープの設置等による飛来防止
　▷　死亡鶏・卵の適切な処理
　▷　畜舎周囲の整理・整頓
3　小型の野生動物等が家きん舎に侵入しないよう、**家きん舎の内部及び外部から点検を行い、破損箇所や開口部の隙間は速やかな補修を行うこと**
4　飼養衛生管理区域及び家きん舎へ出入りの際は、**車両の消毒**及び**長靴・衣服等の交換**を必ず行うこと
5　消石灰散布等により、農場周辺の**消毒を定期的に実施**すること
6　農場関係者は、**他の農場への不要不急の出入りを控える**こと

本病の発生を予防するため、
農場におけるウイルス侵入防止対策を徹底しましょう！

畜　産　の　研　究　(157)

乳用牛群能力検定データを活用した乳中ケトン体及び脂肪酸組成の可視化ツールの開発

1　背景とねらい

一般社団法人家畜改良事業団（以下「事業団」という。）が実施する「乳用牛群能力検定事業」では、令和7年度より、新たに乳中のケトン体（以下「BHB」という。）濃度及び乳中脂肪酸組成（以下「MFA」という。）のデータ提供を開始しました。

泌乳牛は、分娩前後に「泌乳量に見合った乾物摂取量」が確保されない場合、牛体の体脂肪を消費しますが、これが過剰となりエネルギー代謝が破綻するとBHBが産出され、食欲不振に陥り、乳量低下に繋がります。

また、MFAは、粗飼料由来のデノボ脂肪酸（デノボFA）、体脂肪及び油脂由来のプレフォーム脂肪酸（プレフォームFA）、その両方に由来するミックス脂肪酸の3つに分類され、乾物摂取量や第１胃内環境、飼料の消化性、エネルギーバランスなどを反映して変動します。

これらBHB、MFAは、泌乳牛の健康状態、飼養管理上の問題点などを把握する良い指標となりますが、提供されるのはウェブ上の数値データのみであるため、結果を理解しづらく、県内の酪農家の経営改善や指導に活用されていない状況にあります。

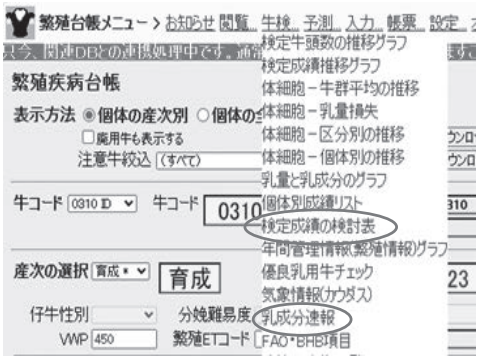
そこで、畜産研究所では、検定成績と同様に、これらBHBやMFAのデータを可視化することで容易に確認することができる可視化ツール（Excelシート）を開発しました。

2　可視化ツールの使用方法

可視化ツールの使用方法は以下のとおりです。

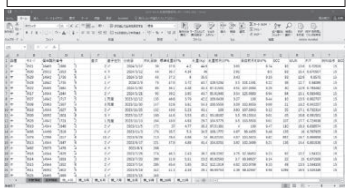
(1)　事業団の繁殖台帳Webシステムにログインし、「牛検」タブより「検定成績の検討表」と「乳成分速報」にアクセスし①、各月・Excel形式でダウンロード②する（図1）。

(2)　②でダウンロードした所定のExcelシート③



①繁殖 Web システムにログインし、牛検タブより検定成績の検討表と乳成分速報にアクセス

②各月・Excel 形式でダウンロード



③所定の Excel シートに貼り付けるのみ

図１　乳中脂肪酸組成及びケトン体濃度の可視化ツールの使用方法

動物の健康は人の健康につながる
●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、
あらゆる動物の健康維持に貢献します。
動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品
MPアグロ株式会社
本社:北海道北広島市大曲工業団地6-2-13　盛岡支店:TEL 019(638)3291

に対象となるデータを貼り付ける（図1）。

(3)　自動で集計された牛群及び個体データが、Excel上の「レポートⅠ」(図2) 及び「レポートⅡ」(図3) シートに表示される。

(4)「レポートⅠ」では乳量や乳成分、搾乳日数と並列でBHBやMFAの牛群平均値の年間推移及び基準値を満たした頭数割合を確認することができる（図2）。

(5)「レポートⅡ」ではBHB及びMFAの搾乳日数毎の個体データ、搾乳日数毎のMFA推移の傾向を確認することができる（図3）。

３　活用方法等

事業団から提供されたBHB、MFAのデータを可視化ツールで活用すると、給与飼料の量やバランスが適正かどうかを把握できるほか、牛の健康と高生産を両立するための指標としても利用でき、また、経営者のみならず、農業改良普及員やＪＡ営農指導員などの方々が現地指導に役立てることができます。

本可視化ツールへのご質問などは、畜産研究所または最寄りの農業改良普及センター（畜産担当）までお問い合わせください。

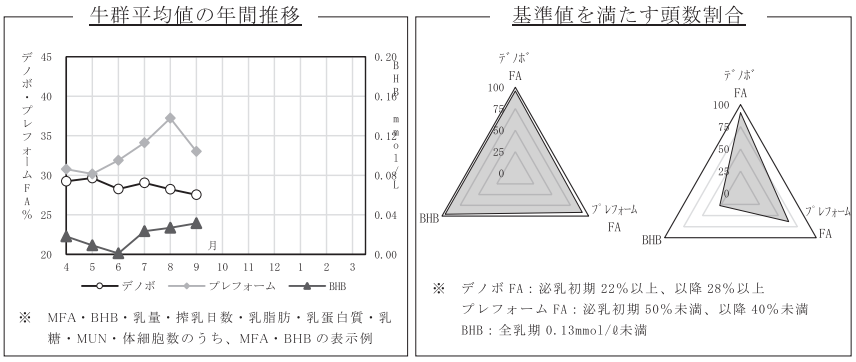


図２　レポートⅠの掲載内容

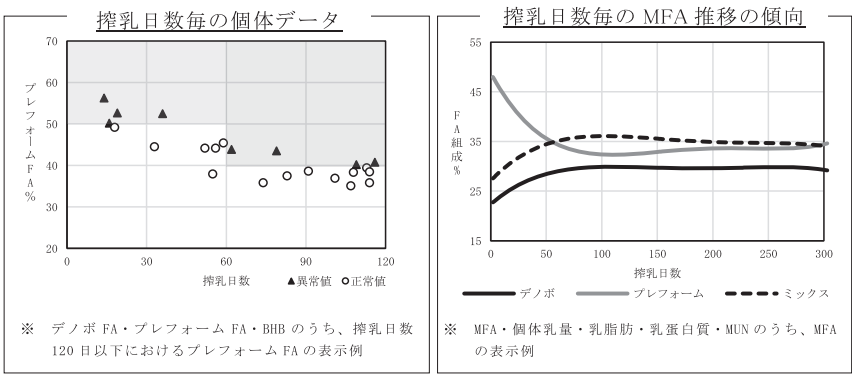


図３　レポートⅡの掲載内容

【担当】畜産研究所　家畜飼養・飼料研究室　伊藤修

乳用牛群検定情報 (20)

一般社団法人家畜改良事業団

～サイレージの酪酸発酵～

今回は酪酸発酵したサイレージを給与してしまった場合の牛群検定成績表の具体的な特徴を紹介します。

１　ケトーシス

酪酸発酵したサイレージを給与することで、ケトーシスという病気を罹患しやすくなります。図に示したとおり、ケトーシスは肝臓での代謝が上手くいかず、ケトン体が大量に生成されてしまう病気で、

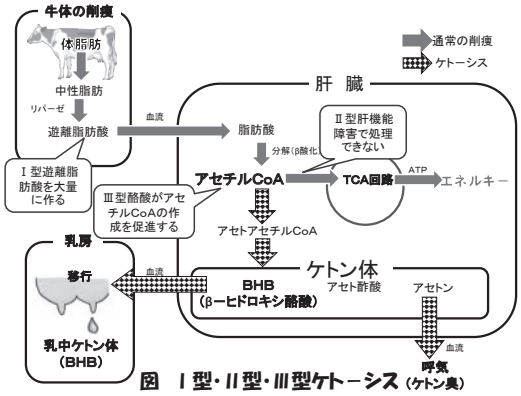


図　Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型ケトーシス（ケトン臭）

その原因は大きく3つあると言われています。

Ⅰ型（エネルギー不足型）

分娩後に泌乳量の増加に伴う採食量が伴わないため、エネルギー不足となり牛が削痩するもの。

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ
小田島商事株式会社
本社　〒025-0311 花巻市卸町66番地　TEL 0198-26-4151
＜動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材＞
花　巻(営) 0198-26-4700　八　戸(営) 0178-34-2284
大船渡(営) 0192-26-4740　プレミックス工場 0198-26-4726
横手・青森・古川・山形・酒田・福島・旭川・札幌・帯広・釧路

体脂肪分解により生成される大量の遊離脂肪酸からケトン体が作られてしまいます。

Ⅱ型（脂肪肝型）

泌乳末期や乾乳期の過肥により脂肪肝となることが原因。肝機能が低下することから、エネルギー生成が上手くいかずに大量のケトン体が作られてしまいます。

Ⅲ型（酪酸型）

酪酸発酵したサイレージを給与することが原因。正常なサイレージ発酵は乳酸ですが、酪酸は乳酸以上に図中のアセチルCoAの生成を促してしまうため、結果的にケトン体を大量に発生させます。

２　検定成績表

上述で紹介した3つのケトーシスのうち、Ⅰ型とⅡ型は各個体での状況によりますが、Ⅲ型はサイレージが原因なので牛群が一斉にケトーシスとなるため被害は甚大です。表に示したように検定成績表における特徴は、全頭的に乳脂率(F)が高く、蛋白質率(P)が低いことです。すなわちＰ／Ｆ比が低い場合は要注意です。

サイレージはサイロで大量に調製するものですから、この事例のように酪酸発酵の傾向があっても、牛群の能力を著しく低下させなければ経営的判断として、給与を継続する場合もあると思います。その時は、スラブフィーディング（固め食い）の回避を心がけます。給与回数を増やしたり、他の品質の良いサイレージと混ぜて給与すると良いと言われています。

なお、ケトーシスには、BHB（βヒドロキシ酪酸）という牛群検定の新しい検査項目も関係しますが、これは別の機会に紹介します。

表　酪酸発酵したサイレージを給与した典型的な検定成績表（成績表2枚目）

牛コード	分娩 年月日	産次	産子性別	難易	搾乳又は乾乳日数	乳脂率(%) 前月	乳脂率(%) 今月	蛋白質率(%) 今月	蛋白質率(%) 前月	P/F比
0605	261109	2	♂♂	2	24		5.12	4.08		0.80
0659	261109	1	♀	2	24		4.60	2.91		0.63
0660	261109	1	死産	3	24		5.24	2.94		0.56
0535	261107	5	♂	2	26		5.51	2.91		0.53
0613	261101	2	♀	2	32		4.92	※2.77		0.56
0504	261029	5	♀	1	35		5.01	2.83		0.56
0587	261022	3	♂	1	42	4.86	▽4.23	※2.75	3.11	0.65
0562	261014	4	♀	2	50	6.04	▼4.73	※2.77	2.97	0.59
0658	261009	1	死産	2	55	4.62	5.94	※2.59	※2.71	0.44
0656	261007	1	♀	2	57	4.99	4.76	※2.79	3.11	0.59
0651	260911	1	♂	2	83	▼3.69	4.38	3.02	3.17	0.69
0585	260907	3	♀	1	87	5.44	▽4.90	3.08	3.04	0.63
0650	260906	1	♀	2	88	4.78	5.45	3.22	3.15	0.59
0619	260904	2	♂	1	90	▼4.15	3.90	2.99	3.00	0.77
0649	260903	1	♀	2	91	3.58	3.82	3.20	3.00	0.84
0625	260809	2	♂	1	116	4.64	4.98	3.36	3.28	0.68
0623	260803	2	♂	1	122	3.74	5.03	3.17	3.23	0.63
0579	260729	3	♂	1	127	▼4.22	4.39	2.87	2.92	0.65
0645	260702	1	♀	1	154	3.85	4.82	3.13	3.17	0.65
0594	260630	2	♀	2	156	5.47	5.04	3.33	3.39	0.66
0610	260310	2	♀	1	268	4.22	5.14	3.69	3.73	0.72
0609	260303	2	♂	1	275	4.93	5.48	3.57	3.69	0.65
0611	260303	2	♀	1	275	▼3.94	4.37	3.82	3.89	0.87
0640	260302	1	♀	2	276	3.58	4.18	3.63	3.73	0.87
0639	260215	1	♀	1	291	5.87	5.46	3.71	3.75	0.68
0606	260201	2	♂	2	305		4.75	3.99		0.84
0527	260131	4	♀	1	306	4.03	3.83	3.61	3.66	0.94
0501	260114	5	♂	2	323	5.34	5.59	3.57	3.72	0.64

畜産技術情報(111)

分娩間隔短縮のための冬期の増し飼いについて

１　寒冷期は受胎頭数が少なく、空胎期間が長くなっている

県内で飼養されている黒毛和種繁殖雌牛のうち、モットー君通信簿（令和7年6月配布）に分娩間隔データのある71,856頭を分析すると、平均値で、分娩間隔は408日、空胎日数は118日です。

分娩日を遡って、空胎日数を受胎した月毎にみると図のようになります。空胎日数が短いのは7～8月に受胎した牛で、前産から受胎まで

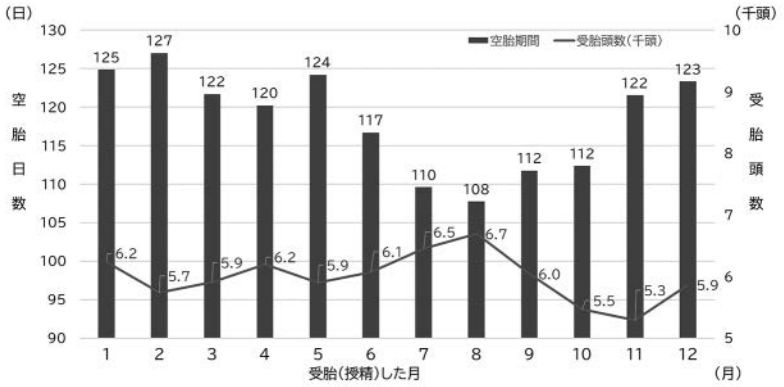


図　受胎月別の空胎日数　（モットー君通信簿Ｒ７．６月配布　71,856頭の分娩データより）

●共進会用馬・乳牛肉牛 用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・肉牛用牛衣　●牛馬手入用毛ブラシ・根ブラシ・金ぐし
●普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・輓馬具一式・畜犬具
●電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
●せんてい鋏ケース他造園工具ケース類　●その他特別御注文のカバン等承って居ります
創業110年品質第一手造りの店
岩手県指定店　塩釜馬具店
盛岡市大沢川原２丁目２の32　ＴＥＬ019-622-5393（労働福祉会館隣）

108～110日です。空胎日数が一番長いのは2月に受胎した牛で、前産から受胎まで127日です。

また、11～5月に受胎した牛は、いずれの月も空胎日数が120日以上と長期化しています。さらに受胎頭数は、8月をピークに気温の低下と比例するように、11月に向かって少なくなっています。

これらのことから、寒冷期の飼料給与（エネルギー不足）が空胎日数の延長や受胎頭数に関係していると考えられます。

月別の分娩頭数は毎年、同じ傾向にあります。分娩間隔の目標380日（空胎日数約90日）を目指して、寒冷期の飼料給与量を見直しましょう。

2　寒冷期には熱生産のためのエネルギー消費が増える

牛は、寒さに強い動物ですが、寒冷期には熱生産のためのエネルギー消費が増えるため、飼料給与量を増やす必要があります。気温が0～－5℃になる12月には、適温時（18～25℃：5～9月）より飼料要求量が30%多くなります。10～11月には、気温に応じて10～20%の増飼に取り組みます。また、表１にあるように、気温の低下に応じて増飼が必要です。

寒冷期でも、栄養が充足すると初回授精の受胎率が向上し、空胎日数の短縮が期待できますので岩手県農業研究センター試験研究成果書も併せて確認してください（※1平成26年度、※2令和4年度）。

表１　成雌牛（体重500kg）の養分要求量

気温	TDN（g/日）	適温時との割合（%）
18～25℃	3,270	100
0～－5℃	4,251	130
－5～－10℃	4,905	150
－10℃以下	5,559	170

＊１ 黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術（平成26年度岩手県農業研究センター試験研究成果書）より抜粋

＊２ 黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラム（令和４年度岩手県農業研究センター試験研究成果書）はこちらからご覧いただけます

3　寒冷期の飼料給与例

維持期、妊娠末期（分娩前60日間）、分娩後の授乳期ごとの養分要求量は表２のとおりです。下段は30%増量した場合で、ＴＤＮ、ＣＰとも増量します。

飼料を変更する際は、急激に太らない・痩せないよう、牛のボディーコンディションや糞便を確認しながら行います。

表２　体重500kgの成雌牛の養分要求量（日本飼養標準2022）と給与例

適温時（18～25℃）	維持期		妊娠末期		授乳期(乳量7kg)	
	TDN	CP	TDN	CP	TDN	CP
要求量（g）	3,270	515	4,100	727	5,790	1,194
イネ科牧草(kg)＊3	7.5		8.0		8.0	
繁殖牛用配合飼料(kg)＊4	0.0		1.5		4.0	

寒冷時（0～－5℃）30%増量	維持期		妊娠末期		授乳期(乳量7kg)	
	TDN	CP	TDN	CP	TDN	CP
要求量（g）	4,251	670	5,330	945	7,527	1,552
イネ科牧草(kg)＊3	9.0		9.0		9.0	
繁殖牛用配合飼料(kg)＊4	0.8		2.0		5.5	

＊3 イネ科牧草　TDN45%、CP7%として試算
＊4 繁殖牛用配合飼料　TDN70.1%、CP16.6%として試算。

寒冷期の飼養管理のポイント
- □ 寒さ対策のため、気温に応じて飼料給与量を10～30%増やす
- □ 温水を給与する
- □ ビタミン、ミネラルを充足させる
- □ 温かい時間帯に換気する

小ロットのオンデマンド印刷から
大量商業印刷まで
各種印刷・ドキュメント処理・アンケート調査支援

小松総合印刷株式会社
岩手県盛岡市鉈屋町15-4　TEL (019) 624-1374 FAX (019) 623-6719
E-mail:mail@komatsu-gp.com　URL:http://www.komatsu-gp.com

これからの未来のために
暮らしのチカラに、地方競馬

地方競馬の目的は、馬の改良増殖その他畜産の振興への寄与と、地方財政の改善です。

馬の改良増殖その他畜産の振興への寄与は、地方競馬全国協会（以下「NAR」という。）へ売上の一部を交付することで実施され、地方財政の改善は、①競馬を開催している自治体への分配金②地方公共団体金融機構への納付金によって行われています。

主な貢献の内容は次のとおりです。

１　主催者収益による地方財政への貢献

主催者収益金は、地域の教育・文化の発展や社会福祉の増進、医療の普及やスポーツの振興、都市計画その他公共施設の整備などに使われ、地域のくらしに役立っています。

２　畜産振興への貢献

NARは地方競馬の売り上げの一部を活用して、畜産振興事業に対して補助を行っています。補助の対象は、酪農、肉用牛、中小家畜など家畜の生産対策に関する事業、生産された家畜や畜産物等の流通改善のための事業、家畜の飼養環境改善事業などです。

３　地域社会への貢献

売り上げの一部は、地方公共団体の上下水道や病院、交通等を対象とした事業に活用されており、競馬を開催している自治体だけでなく、その他の自治体に対しても様々な形で還元され、広く社会に貢献しています。

地方競馬の売上げの一部は、畜産振興および地方財政の改善に活用されています。

地方競馬全国協会
https://www.keiba.go.jp/

出版物のご案内　公益社団法人中央畜産会から出版されている出版物を紹介します。

2026年用

畜　産　手　帳

CHIKUSAN DIARY 2026

表紙は2025年版のものです

※数に限りがございますので、ご注文はお早めにどうぞ！

※スケジュール管理のほか、統計資料も閲覧できるポケットサイズの便利な手帳です。

■仕様
高級発泡シート（ポケット付き）、日記等2色刷、
住所録・各種畜産関係統計資料等付録　丈夫さUP！

■本体サイズ
145mm×85mm

■価格
1,100円（消費税込・送料別）
【送料：１冊270円、2～4冊430円、5冊以上600円】
10～99冊の一括注文の場合880円
100冊以上　〃　770円

■主な掲載内容
○日記欄
○住所録（中央官庁・地方庁・畜産関係団体・会社・道府県畜産協会等）
○各種畜産関係統計資料等
・飼養戸数・頭羽数　・生産・需給関係データ
・主要国の畜産生産状況
・家畜繁殖関係　・飼養管理関係
・家畜改良増殖目標
・飼料関係（畜種別養分要求量、主要飼料養分早見表、種類別容積重量等）
・営農関係（生産費、労働時間、固定資産評価基準、家畜ふん尿関係データ、施用基準等）
・畜産物の価格（安定価格・販売価格の推移、取引規格等、家計消費統計も充実）
・衛生関係データ
・畜産関係融資制度　など

※QRコードから読み取り可能

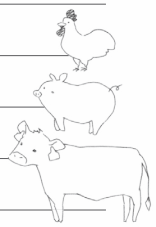
ご注文は、当協会総務部までご連絡ください。　TEL：019-694-1300　FAX：019-694-1305

株式会社いわちく
●食肉処理解体、食肉製造・販売、直営店経営　他
〒028-3311　岩手県紫波郡紫波町犬渕字南谷地120番地
TEL：019-676-4600(代)　FAX：019-676-4609
https://www.iwachiku.co.jp

NAR

食卓からの、ありがとう。

私たちがおいしい牛乳やお肉、
卵を食べられるのは、
畜産に携わるすべての人のおかげです。
さまざまな人の努力や想いがあるからこそ、
今日の食卓が豊かになっている。
そのことを、私たちは知っています。
おいしい国産の畜産物が、
この先も続いていくように。
豊かな畜産の未来に向かって、
できることを続けます。



国産の牛乳、お肉、卵を
食べてまもろう。

地方競馬と全国の畜産会組織は
日本の畜産を応援しています。
地方競馬の売上の一部は、地域のくらしや畜産の振興に
役立てられています。
https://jlia.jin.gr.jp/tekiseikakaku/

公益社団法人
中央畜産会
JAPAN LIVESTOCK INDUSTRY ASSOCIATION
×
一般社団法人
岩手県畜産協会

（公社）中央畜産会からのお知らせ
畜 産 映 像 情 報
がんばる！畜産！8

畜産現場の"今"を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：総集編　思いが繋ぐ畜産の未来／明るい未来へ向けて畜産DXの取り組み／乳用牛改良の取り組み／地域ぐるみで国産飼料生産！　ほか

（公社）中央畜産会　経営支援部（情報）　TEL03-6206-0846

◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索
がんばる畜産

令和７年度 短角牛市場成績

全農岩手県本部

市場名	性別	日本短角種			和牛間交雑等(褐毛含む)			合　計		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
10月22日 中央	雌	106	379,500	221				106	379,500	221
	雄	1	255,200	208				1	255,200	208
	去勢	108	401,072	237				108	401,072	237
	計	215	389,758	229				215	389,758	229
10月23日 中央	雌	131	383,858	222	10	371,800	211	141	383,003	222
	雄									
	去勢	159	399,307	243	7	454,457	238	166	401,633	243
	計	290	392,328	234	17	405,835	222	307	393,076	233
秋期市場 合　計	雌	237	381,909	222	10	371,800	211	247	381,500	221
	雄	1	255,200	208				1	255,200	208
	去勢	267	400,021	241	7	454,457	238	274	401,412	241
	計	505	391,234	232	17	405,835	222	522	391,710	231

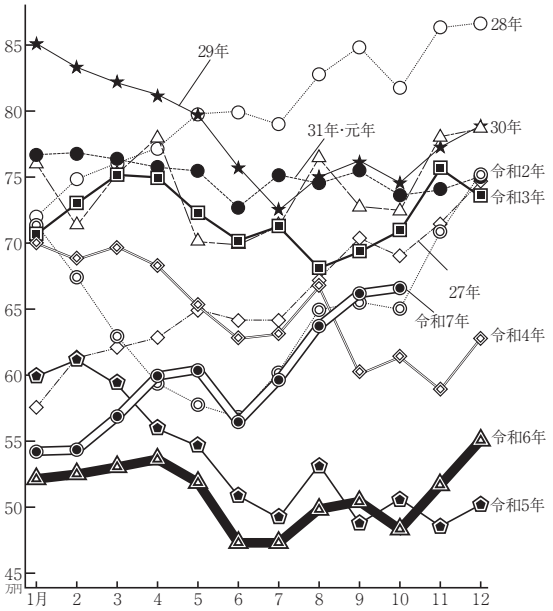
県内黒毛和種子牛市場成績

（全農岩手県本部）

市場区分	性別	令和７年９月			令和７年10月		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
県南初日 胆江・気仙	雌	81	591,895	298	76	635,163	300
	雄						
	去勢	98	697,523	330	123	713,113	331
	計	179	649,725	315	199	683,343	319
県南２日目 磐井	雌	90	592,802	289	99	612,278	289
	雄						
	去勢	99	688,733	324	107	696,115	323
	計	189	643,052	307	206	655,824	307
中央初日 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	118	591,567	281	159	601,831	279
	雄						
	去勢	158	718,230	312	180	716,308	309
	計	276	664,077	299	339	662,615	295
中央２日目 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	103	598,379	286	129	602,578	284
	雄						
	去勢	156	705,058	318	138	705,666	313
	計	259	662,633	305	267	655,860	299
中央３日目 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	112	613,957	291	114	606,611	291
	雄						
	去勢	193	714,732	319	170	719,374	320
	計	305	677,726	308	284	674,110	309
合　計	雌	504	598,208	289	577	609,125	287
	雄						
	去勢	704	707,322	319	718	711,432	318
	計	1,208	661,798	306	1,295	665,848	304

※　価格は円（税込み）、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区　分	令和７年９月		令和７年10月	
	頭 数	平均価格	頭 数	平均価格
黒毛和種	1,083頭	654,496円	1,146頭	657,173円
褐毛和種	－	－	4頭	464,200円
日本短角種	－	－	446頭	394,875円
ホルスタイン種（雌を除く）	－	－	－	－
交雑種・乳	4頭	305,250円	3頭	320,100円

※　指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛（区分ごとに体重の範囲が定められている。）

※　平均価格は消費税込み

『生産者と共に豊かな食生活を未来へつなぐ』

JA全農くみあい飼料株式会社　北日本事業本部　北東北支店　岩手営業所

〒020　0891
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2丁目5番2号
TEL 019-638-7910 FAX 019-638-7920